

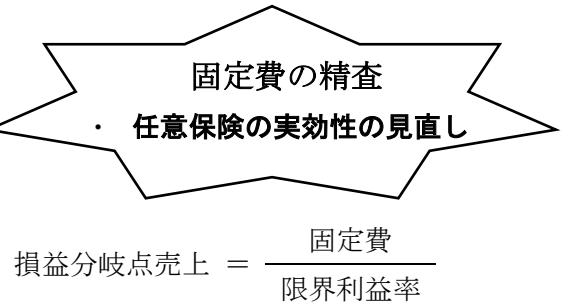
固定費としての任意保険の見直しについて

1. 固定費を見直し、利益率を上げる

毎月の固定費はいくらですか。管理可能費はどのくらいありますか。

中でも、経営のさまざまなリスクに備えて、事業者が加入している任意保険は多岐にわたります。固定費としての支出をコントロールすることはもちろん、情勢の変化に合わせて、柔軟に見直すことが、リスクに対応するために不可欠な手段です。

売上	変動費	
	限界利益	固定費
		経常利益



2. 加入中の保険の補償内容を把握されていますか？いつどんな補償が必要ですか

☆ 保険証券をそろえましょう

損害保険 自動車 火災 地震 傷害保険 生産物賠償 請負賠償 施設賠償・・・

【目的】 財物損害（自らが所有する財産に対する損害補てん）・損害賠償（第三者に対する補償）
従業員へのケガ（労災の上乗せ）など

生命保険 養老保険 がん保険 医療保険 収入保障保険・・・

【目的】 短期的・長期的な資金繰り（退職金など）・事業主の就業不能時の運転資金対策
相続・借入金対策・貯蓄目的 など

3. 定期的に見直しましょう

- 事業規模の拡大、役員や従業員の年齢構成の変化、自然災害の増加など必要な補償やその割合は変化しています
- 2019年、法人保険の保険料の取り扱いに関する損金算入ルールが見直されています
- 2020年1月、火災保険料の参考準率が上がります
- 新しい保険商品が発売され、時勢に応じて特約や補償内容（支払基準）も変わっています

- 加入目的とのずれはないか ○ 補償が重複していないか
- 補償の厚さは適当か ○ 損金算入と解約返戻金のバランスは
- 1年更新を長期契約に見直し、料率の変更に備える ○ 一定の補償を総合保険でまとめる など

4. まとめて診断できます

相談先に心当たりがない方は、(税)AMAGUCHI パートナースが提携する保険代理店でご対応できます。ご加入中の保険証券をご用意ください。保険のプロが診断し、最適なプランを提案します。

保険担当 内山

得バックナンバーはこちら

AMAGUCHI パートナース



または

天口会計事務所



<https://amaguchi.com/category/oshirase/>



税理士法人

AMAGUCHI パートナース

TEL : 023-625-2773